

山形県立米沢興譲館高等学校 SSH 通信

平成31年3月21日(木)、本校記念講堂および体育館を会場にSSH生徒研究発表会が開催された。1年生は通年で学んできた学校設定教科・科目「異分野融合サイエンス(FS)」コース別講義・研修での学習内容をポスターにまとめ、発表した。2年生はスーパースイエンスリサーチ(SSR)での研究内容について通年で学んできた探究型学習での研究内容も交えて、ポスター発表を行った。

また、審査とは別に、今回特別参加した新潟国際情報高等学校によるポスター発表2点およびイノベーター育成塾生(CSS2年生部員)による口頭発表等も行われた。発表はグループ毎に創意工夫がなされ、自身が興味・関心を持って学んだことを聴講者にも理解してほしいという気持ちが伝わる内容となった。今回上位入賞した10チームは、5月に行われる口頭発表へと進む。



平成30年度 SSH 生徒研究発表会

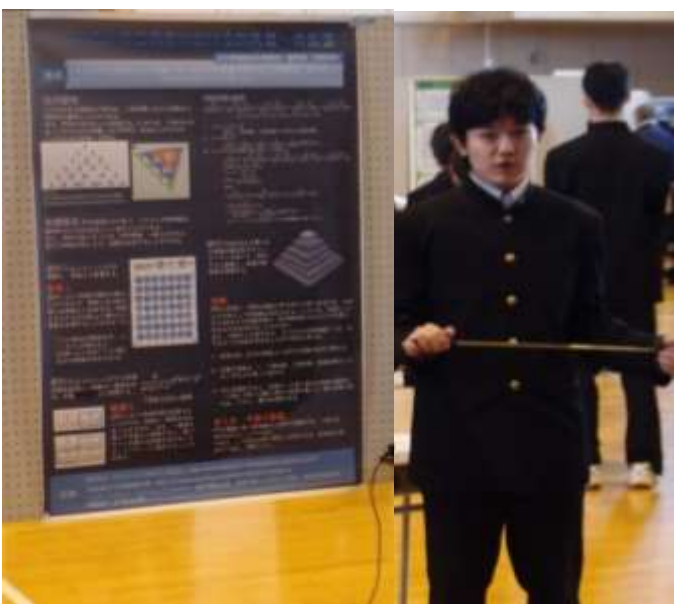


SSH生徒研究発表会
 沸点上昇から見た濃塩化ナトリウム水溶液中の状態の解明」
 2年1組 男子

まず、今回の発表会で最優秀賞を受賞することができ、素直にうれしいです。当日、私たちの班の主力のT君を欠き、ピンチの状態でしたが、山形大学の先生方のご協力、そしてなによりも班員全員が真剣に取り組んだことが、ここまでこれた理由だと思います。

他の班の発表も興味深いものが多く、見ていてとても楽しい発表会でした。特に理数科の発表は、研究の「ねらい」がはっきりしており、続く実験・結果および考察が深く行われていると感しました。そのため、聞く側としても理解しやすく楽しかったです。

五月には校内最終選考があるので、それに向けてさらに深い探究活動を行っていききたいと思います。



SSR生徒研究発表会を終えて」
 2年1組 男子

今回、私は、バスカルの三角形における四角錐への拡張」というテーマで、ポスター発表を行った。その結果、優良賞をいただくことが出来た。研究者は私一人であり、大変だったことも多かったが、クラスの友人や、指導担当の後藤由香先生にご助力いただき、何とか研究をやりきることが出来た。先日の台湾研修中、英語で口頭発表したことも、今回の結果につながっていると思う。五月の口頭発表に向け、研究内容とその説明により磨きをかけていきたい。



1年間の集大成」
 2年5組 女子

3月21日に行われたSSR生徒研究発表会は、11月の中間発表会を経てさらに研究に磨きをかけた2年生にとつて、集大成となる発表会でした。レベルの高い研究がそろった中で、私たちの班は優良賞をいただきました。とても光栄に思います。私たちの班は、マインドセット、すなわち物事の見方や信念が学習に及ぼす影響について調べました。多くの興譲館生の協力のもとでアンケートや実験を行い、効率の良い学習につながるマインドセットを導き出せました。5月の校内最終選考会まで探究し続け、より多くの人の役に立つ研究にしたいです。今回の探究活動を通して、研究をすることに魅力や感動を感じました。文系の私たちにもこの機会を頂けたことをありがたく思います。最後に、ご指導、協力してくださった先生方、生徒の皆さんありがとうございました。

